

2009.06.28 聖別会

IMMANUEL

インマヌエル
中目黒キリスト教会
聖別会マンスリー



<アラン・カページ著の「弟子の道」に沿って>

*⑤の「主イエスの弟子作り」の組み立てを変えました。

キリストの弟子⑤「弟子道の代価」

テキスト：「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、日々自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。」

(ルカ 9:23)

I. 12使徒派遣の背景

1. 大きな必要：「羊飼いのない羊」(マタイ 9:36)
2. 少なすぎる働き手：「収穫は多いが…」(9:37)
3. 祈り：「収穫の主に・祈りなさい」(9:38)

II. 12使徒派遣の意味(マタイ 10章)

1. 主の權威の委任：癒しと悪霊の放逐(1節)
2. 目標特定：「イスラエルの失われた羊」(5-6節)
3. 働きの内容：説教・教え、癒し(7-8節)

III. 派遣に伴う具体的課題

1. 経済：無償の奉仕(8-9節)
2. 生活：人々の善意に依拠(11-15節)
3. 反対者への対処：知恵と忍耐と勇氣(16-23節)

IV. 派遣の目的：主のようになること(24-25節)

V. 弟子道の代価

1. 主を最優先とすること(35-37節)
2. 自分に死ぬこと(38-39節)*
3. 弟子道の報酬(39節)

*38 節に注目して——

A. 類似聖句は、繰り返された

1. 「ペテロの告白」後(ルカ 9:22-25) : イエスは神の子との告白→十字架予言→ペテロの諫言とイエスの叱責→十字架こそ救いの道
2. 十字架予言の後(マルコ 10:29-30) : 弟子達の権力論争→主の謙遜の模範→献身は?
3. 「塔の譬え」の後(ルカ 14:26) →献身の覚悟は?
4. 富める青年(ルカ 18:28-30) : 青年の失望→弟子達が献身を「自慢」→徹底した献身を求める
5. 受難週の最中(ヨハネ 12:24-26) : ギリシャ人の来訪→一粒の麦の譬え→献身の必要

B. 主の弟子のあり方(ルカ 9:23)

1. 自己放棄 : 自分の権利、名誉、計画、プライドを神の国の為に喜んで捨てる用意
2. 十字架を取る : 主のための辱め、苦しみ、悩みを、日々の決断として自発的に負う
3. キリストの後に従う : 主イエスの足跡を辿り、その生き方に倣う

<テーマソング> 「弟子となし給え」(新聖歌 404)

- ①弟子となし給え わが主よわが主よ
弟子となし給え わが主よ
心の底より弟子となし給え わが主よ
- ④主をば倣いたし わが主よわが主よ
主をば倣いたしわが主よ
心の底より主をば倣いたし わが主よ

Lord, I want to be a Christian, inna my heart, inna my heart,
Lord, I want to be a Christian, inna my heart.
Inna my heart, inna my heart,
Lord, I want to be a Christian, inna my heart.